渋谷で学ぶ、神職を目指す

國學院大學

神道文化学部

神職子女向け案内

もっと日本を。もっと世界へ。

國學院大學

KOKUGAKUIN Univ.

神職子女奨学金制度による支援！

神道・宗教特別選考入学試験で入学した新入生全員に奨学金を給付します。

返済不要

新　入　生：自宅外通学者40万円、
自宅通学者20万円（全員、年額）

2～4年次：10万円（学業成績上位20名以内、年額）

フレックスA（夜間主）入学のすすめ

小野和伸准教授と

成人加冠式で

フレックスA（夜間主）は、経済的負担も少なく、人の輪も広がります

丹川 葵さん
フレックスA（夜間主）２年

実家は兼業神職で、家族が神職として奉仕している姿を見ながら育ってきました。神道文化学部への進学を決めたのも、「将来、少しでもお宮の手伝いをしたい」という思いからです。

学費や住居費の面で家族になるべく負担をかけたくないと考え、奨学金制度のあるフレックスAへの入学を希望しました。

入学後は、昼間は助勤やアルバイトに勤しみ、夕方からは大学で神道について学ぶ日々が続いています。２年次からは祭式の授業も始まり、神職になるための道筋を歩んでいることを実感しています。

大学ではさまざまな方々との関わりが広がりました。地方出身者も数多く、同じ境遇に育った大切な友人たちと出会うことができました。

また夜間の授業には、幅広い年齢層の方々が学びに来ています。その方々との関わりの中で、実社会についての多くの知見を得ることができました。これも夜間主なればこその御縁と思い、とても感謝しています。

大学で出会った仲間とともに、神道について学ぶ一日一日、深い喜びを感じています。これからも人とのつながりを大切にしながら、ここでしか身につけることのできないことを学んでいきたいと思います。

※学年はすべて取材時のものです。

岩切 郁加さん
フレックスA（夜間主）２年

私には姉妹がいるので、大学進学に際して家族に経済的な負担をかけてしまうことが心配でした。そんなときに知ったのが、神社で実習生として奉仕しながら大学にも通える「フレックスAの奨学金制度」でした。

学部では、同じ環境で育った友人たちと出会うことができました。互いに励まし合い、支え合いながら、充実した学生生活を送っています。

入学以来、東京大神宮で実習生として奉仕させていただいております。宮司さまをはじめ、職員の方々には本当にお世話になりました。一緒に実習をしている先輩、同期の仲間たちと、互いに気持ちを寄せ合いながら、相携えて神職への道を目指しています。

１年生のときは、授与所と祭典の準備が主な担当でしたが、２年生になってからは、祭典や結婚式で楽人として奉仕させていただけるようになりました。この経験を、将来はぜひ実家のお宮で役立てたいと思っています。

フレックスA（夜間主）で神社実習生として学んでいます

東京大神宮提供

國學院大學の奨学金制度

1年次は全員支給

神道・宗教 特別選考新入生対象（返済不要）
神職子女奨学金 …[1年次生]自宅外通学者40万円／自宅通学者20万円支給（全員）
…[2年次以上]自宅外・自宅通学者ともに年額10万円支給（学業成績の上位20名以内）

詳しくは本学ホームページ「入試情報に関するお知らせ」でご案内します。 http://www.kokugakuin.ac.jp/admission/nyugaku0300166.html

夜間主学生対象（返済不要）	國學院大學フレックス特別給付奨学金……400,000円
神社界からの奨学金	神社本庁育英奨学金……30万円支給（2年生以上）（返済不要）※条件あり 伏見稲荷大社奨学金……24万円支給（返済不要） 全国敬神婦人連合会育英奨学金……15万円支給（女子学生のみ、2年生以上）（返済不要）

成人加冠式「祝賀の舞」

武田学部長と

母校の物心両面の支援に心から感謝しています

春田 華奈さん
フレックスA（夜間主）４年

神道文化学部への進学を考えたのは、高校３年生のとき。姉妹がいるため、フレックス奨学金の支援を受けることで学費の負担を軽減できるフレックスA（夜間主）への入学に迷いはありませんでした。昼間は神社で助勤をさせていただき、夕方からは大学で学業に勤しむ毎日を過ごしています。

大学１年次から祭式や雅楽を学ぶサークル「瑞玉會」に入会し、以来、大学の四季折々の祭事で、祭員や舞人を務めてきました。１年次は大学行事の観月祭で、神楽舞を御奉仕させていただき、２年次は成人加冠式で、参列者代表として誓詞を奉読しました。４年次には成人加冠式「祝賀の儀」で、道の友として交流を深めてきた親しい友人と一緒に「浦安の舞」を披露させていただきました。あたかも大学生活の総括の如く、精一杯の気持ちを込めました。

４年間の学生生活を振り返り、母校の物心両面にわたる支援に、心から感謝しています。奉職後、ここで得たものをぜひとも活かしていきたいと考えています。

藤原 瑛月名さん
フレックスA（夜間主）４年

私は社会人を経て入学しました。学費や生活費は、自分で賄わなければなりませんでした。神道文化学部に夜間主があったのは、本当に幸いで、おかげさまで、４年間、神社で助勤させていただきながらしっかりと学ぶことができました。

学部の授業はどれも興味深く、一所懸命聴講しました。とくに熱心に学んだのは祭式でした。所作の一つ一つに、日本古来の礼儀作法が結晶していることを知りました。また、サークル活動でも、禮法研究會の会員として、祭式作法の研鑽に努めました。

入学して最もよかったことは、仲間や友人との出会いです。神道文化学部は、全国から神職を目指して集った仲間たちと切磋琢磨できるかけがえのない「場」です。

とりわけ私は、同級生の友人から大きな感化を受けてきました。今年の成人加冠式「祝賀の儀」では、その友人とともに「浦安の舞」を奉仕させていただきました。大学生活の総決算として万感の思いをもって奉納いたしました。

神道文化学部に夜間主があって幸いでした

成人加冠式で

観月祭で

成人加冠式で

観月祭で

たてもん祭り　魚津市役所提供

地元の祭礼を担っていきます

武田 将輝さん
フレックスＢ（昼間主）４年

私は富山県の社家に生まれました。高校までは、神職子弟は自分ひとりだけでした。神道文化学部には、全国から神職子弟が集まってきます。境遇を共にする多くの仲間と出会うことができました。こうした大切な仲間との付き合いは、これから一生続いていくことになるでしょう。

入学以来、本学恒例の観月祭で雅楽奉仕を続けてきました。昨年の観月祭が、学生時代最後の観月祭となりました。卒業を前にして、「とうとう最後までやり切った」という達成感を噛み締めています。
雅楽をやっているご縁から、皇居で宮内庁楽部の雅楽披露のお手伝いをさせていただいたこともありました。こうした有難い経験も、神道文化学部生なればこそのものでしょう。

３年次からの基幹演習では、実家が奉仕する神社の「たてもん祭り」を巡って演習論文を作成しました。あたかも４年次の 12 月、「たてもん祭り」を含む全国 33 の「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。一方ならぬご縁を感じ、感無量の思いです。
おかげさまで先般、出身県の名社から奉職内定をいただきました。暫く経験を積ませていただいたのち、ゆくゆくは地元のお宮に戻り、名物「たてもん祭り」の一翼をしっかりと担っていきたいものと願っています。

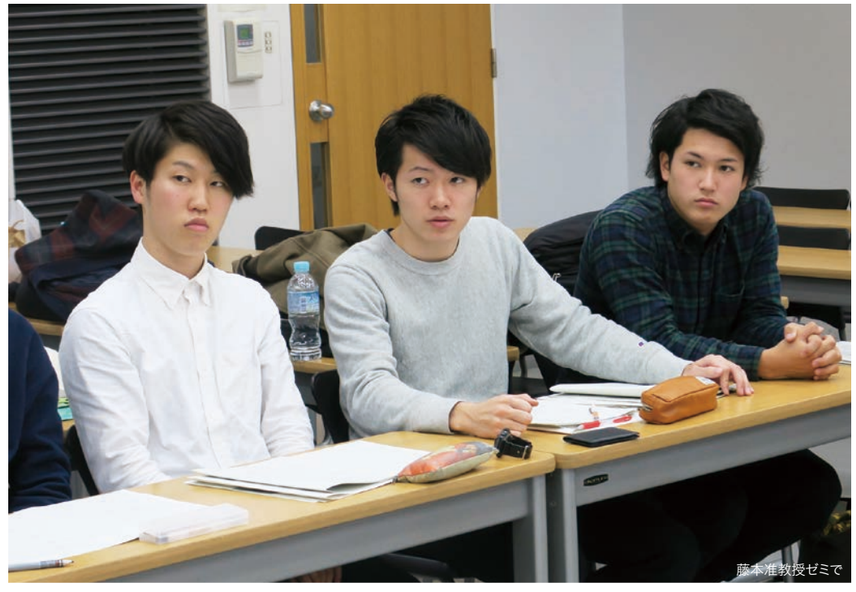
熊野 博元さん
フレックスＢ（昼間主）４年

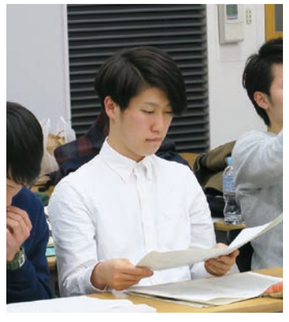
私は出雲の社家の出身です。大学進学に際しては、いささか迷いがありました。一時、他大学への進学も考えましたが、結局、神道文化学部への入学を選びました。もちろん今は、この学部に入ってよかったと実感しています。私と同じ社家出身で、似通った環境を共有する大勢の友人ができました。もし他大学に入っていたら、そうした友人たちと知り合うことはなかったでしょう。

２年次、藤本頼生先生の授業を受講しました。先生の膨大な知識量、真摯な情熱に圧倒されました。３年次からの基幹演習では、迷うことなく藤本先生のゼミを選びました。藤本先生も、中国地方の社家出身です。われわれ神職子弟のことを、いつも親身に考えてくださっています。先生のご指導のもとで、近現代の政教分離の問題を巡る演習論文を作成することができました。

４年次、誰しも直面するのが「奉職」です。『首都圏の神社に奉職しようか、それとも地元の神社にしようか…』そんな迷いを、いつまでも拭い去ることができませんでした。自分なりに考え抜き、また先生方にも相談して、地元の大きな神社の奉職試験を受けさせていただきました。筆記と面接を経て、幸いにも内定をいただくことができました。ゆくゆくは実家で奉仕しているお宮に戻ることになります。『地域貢献』が出来る神職を目指して、精一杯精進していきたいものと願っています。

地域に貢献する神職を目指します


藤本准教授ゼミで



藤本准教授と

実践的の学びを将来に活かす

観月祭で

神職必須の「祭式」「装束」「雅楽」を身につけました

工藤 倭さん
フレックスB（昼間主）4年

私の実家は津軽の社家です。入学当初から、神職必須の「祭式と装束」を身につけることが目標でした。また、将来の神社奉仕に備え、神道系サークルである瑞玉會に入会し、祭式作法や雅楽を研鑽してきました。

観月祭のお誘いを頂いたのは1年生のとき。3年次には、同郷の先輩のお誘いを受け左舞を奉納しました。4年次には左舞賀殿急を「六人舞」で舞うことが叶いました。全員が一体となって、のびのびと舞うことができたと思います。

有職の知識や装束著装の技術を身に付ける「神社祭祀演習ⅢA」の授業では、納得いくまで基本を習得しました。おかげさまで実家のお宮のお祭りの折、父の装束著装を務めることができました。「ゆくゆくは実家に戻り津軽神楽の担い手になりたい、地元で雅楽の団体を立ち上げたい……」そんな夢に、確実に近づいている実感があります。

平成30年度　推薦・特別選考、専攻科、別科入試日程

入試制度	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表	入学手続期間（消印有効）
神道・宗教特別選考［Ⅰ期］ 「神社本庁包括下の神社」及び「神道系教団」の後継者を対象とした入試です。	8/30（水）～ 9/ 6（水）	1次：書類選考 2次：9/24（日）	1次：9/15（金） 2次：9/30（土）	10/ 2（月）～10/10（火）
神職養成機関（普通課程）特別選考	8/30（水）～ 9/ 6（水）	9/24（日）	9/30（土）	10/ 2（月）～10/10（火）
公募制自己推薦（AO型） 「神道文化学部でぜひとも神道文化・宗教文化を学びたい」という強い意欲を抱く志願者を選抜します。	9/27（水）～10/ 4（水）	1次：書類選考 2次：11/12（日）	1次：10/20（金） 2次：11/22（水）	11/24（金）～12/ 1（金）
神道学専攻科 4年制大学を卒業した神職子女が、1年間で神職資格（明階検定合格、正階授与）取得を目指す課程です。	10/10（火）～10/16（月）	11/26（日）	12/5（火）	12/ 7（木）～12/14（木）
神道・宗教特別選考［Ⅱ期］（夜間主） 「神社本庁包括下の神社」及び「神道系教団」の後継者を対象とした入試です。	2/ 5（月）～ 2/ 9（金）	1次：書類選考 2次：2/26（月）	1次：2/20（火） 2次：3/5（月）	3/ 6（火）～ 3/ 9（金）
別科神道専修　Ⅰ類・Ⅱ類 高等学校の卒業者が、神職資格取得を目指す課程です。	2/ 5（月）～ 2/ 9（金）	2/26（月）	3/5（月）	3/ 6（火）～ 3/ 9（金）

※出願資格など詳しい入試の情報については、國學院大學ホームページをご覧になるか、本学入学課（電話03-5466-0141）へお問い合わせください。志願される方はお早めに「入学試験要項」をご請求ください。

説明会

神道・宗教特別選考を志望する方々へ——入試説明会のお知らせ

本学では、（1）神社本庁所属神社の神職、またその家系の子女で、継承者となる方々、もしくは、（2）神道系宗教団体の子女で、将来、後継者となる方々を対象にして、「神道・宗教特別選考」という入試制度を設けています。この入試に関する説明会を、渋谷キャンパスのオープンキャンパスで実施します。日程は、右記のとおりです。「神道・宗教特別選考」を希望される方は、ぜひご参加ください。

6/25（日）、
8/5（土）、8/27（日）